

いるまびと

【特集】① 部会活動 ② 活動上の悩み

発行：入間市民生委員・児童委員協議会 会長 江口哲郎

目次

1. 一斉改選
2. 部会活動
(視察研修)
3. 活動上の悩み
4. サロン紹介
5. 編集後記

協議会からのお知らせです

民生委員児童委員を
知ってもらおう

活動内容

①見守り ②把握 ③つなぐ

メリット・人脈が広がる

- ・社会的信用が得られる
- ・地域や行政とのつながり

今年12月に一斉改選です

現在、入間市では欠員の地区があります

人格と識見 の向上

- ・専門的知識と実践力の習得
- ・住民との信頼関係を築く力
- ・自己研鑽と地域貢献への情熱

自分のためにも

- ・より充実した毎日へ
- ・選挙立ち合いなどの経験
- ・小・中学校の行事への参加



部会活動

障害福祉部会

盲導犬訓練施設「富士ハーネス」での研修(29名参加)



富士ハーネス



●視察研修の感想

障害福祉部会では令和6年11月26日部会研修の一環として、静岡県富士宮市にあります日本盲導犬総合センター(盲導犬の里・富士ハーネス)を訪問しました。

盲導犬のデモンストレーションを見学したり、また施設等をはじめその他センター内のことについて色々なお話をお聞きしたことにより、視覚に障がいをお持ちの方への理解をより一層深めることができ、大変有意義な研修となりました。

●視覚障害者の方が困っていたら

1. 声かけが必要そうか判断する
赤信号で渡ろうとするなど、明らかに危険なとき
白杖を両手で上に掲げているとき(白杖 SOS 合図)
2. 声をかける
突然身体に触れて誘導を始めたり引っ張ったりはせず
声をかけ、腕や肩を掴んでもらう
盲導犬に触らない、えさをあげない、大声を出さない
3. 状況を説明する
視覚障害者の困りごとや行き先を確認したら現在地や目的地の方向など、今の状況を説明します。
「あれ」「こっち」でなく「右手側」「30cm」など具体的に
4. 誘導する
白杖を持っていない側に立って誘導します。
「どのように誘導すればいいですか?」と聞く
法律では公共交通機関や飲食店、スーパーなどへの
盲導犬の同伴が認められています。

●盲導犬のお仕事

1. 曲がり角を教える
2. 段差を教える
3. 障害物を教える



日本盲導犬
協会



活動上の悩み 困りごと

●隣の空き家の枝を何とかして欲しいと自治会長経由で相談がありました。

空き家の住人は以前一人暮らしの高齢者でその後施設に入っていて連絡が取れない状態でした。家族の連絡先が分かり連絡が取れたので苦情を伝えられました。もし連絡先が不明だったら困ったと思いました。



●夜歯が痛み、最寄りの歯科に連れて行ってほしいと頼まれました。救急車を呼ぶほどでもなく、タクシーを呼ぶと歯科の診療時間が終わるので、仕方なく自分の車で送迎しました。

これは民生委員の仕事の範囲外ではないかと迷いました。



みなさんはどんなこと
でお困りですか？

●要介護の一人暮らしの高齢者の方からの相談です。市の高齢者支援課からタクシー券の枚数を昨年までは24枚支給されたのに今年と来年は12枚になりました。そして再来年からは無しくなると通知があったそうです。その方は歩くのも不自由で病院に行くのにタクシー券を利用されてまして困っているとの事。

このような相談事はどう対応したら良いか迷います。ただ聞いてあげるしかなかったです。



困ったときは、各種ホームページを活用しよう！

入間市ホームページ



くらし・手続き
高齢者福祉
障がい者福祉
子育て・教育

入間市社会福祉協議会



高齢者関連
こども・子育て
障がい
ボランティア

地域包括支援センター



高齢者関連
地域ネットワーク
介護予防プラン
介護予防支援



民生委員がお手伝いしているサロン

豊岡第二地区いきいきサロン

東金子地区 サロン八津池 結(ゆい)



内容
実施日時
対象者・エリア
料金
実施場所

健康体操、歌、健康相談、作品作り
第3日曜、13:50-15:00(8月休み)
どなたでも参加できる(地域外可)
100円(別途年間保険代100円)
駅前プラザ10号棟集会所

自己紹介や最近の話題
第2水曜、10:30-11:30
八津池地区にお住いの高齢者
100円(送迎はありません)
八津池自治会館

★高齢者配食サービス事業利用者負担金の改訂(2025年4月より)、ご利用者負担金(1食あたり)100円→200円

編集後記

事務局

入間市役所 福祉総務課
代表 TEL 04-2964-1111

編集 広報部会

新型コロナが沈静化したとはいえ、「隠れコロナ」の罹患が取り沙汰されて久しい。民生委員の活動も、ようやく正常に戻りつつある今日この頃です。

今年12月には民生委員の「一斉改選」を控えており、地域づくりの担い手としての民生委員への期待もいっそう高まっています。

本号は「関係部署のみ配布」としてお届けします。内容は、情報収集の一環として、部会活動の一端や、活動上の悩み・困りごと、「サロン活動」などを取り上げました。

今後の活動の一助となれば幸いです。

広報部会長 山本将文